

# 大森向住宅住戸改善工事

図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
A-1	建築工事 特記仕様書 5-1		C-1	地中埋基礎埋込・基礎処理図	1/30	HA-1	外観仕上表 内観仕上表	
A-2	建築工事 特記仕様書 5-2		C-2	軌伏図 基礎伏図	1/100 1/50	HA-2	部分詳細図 1	1/10
A-3	建築工事 特記仕様書 5-3		C-3	床板組立図 屋根板組立図	1/30	HA-3	部分詳細図 2	1/10
A-4	建築工事 特記仕様書 5-4					HA-4	部分詳細図 3	1/10
A-5	建築工事 特記仕様書 5-5					HA-5	部分詳細図 4	1/10
						HA-6	部分詳細図 5	1/10
A-6	建築工事 指定資材表 A-K-リスト					HA-7	部分詳細図 6	1/10
						HA-8	部分詳細図 7	1/2 1/21/10 1/20
A-7	配置図 附近見取図	1/200 1/50 1/30 1/20				HA-9	部分詳細図 8	1/5 1/10 1/20
A-8	面積表	1/200	E-1	電気工事 特記仕様書		HC-1	基礎部分平面配線図	1/30
A-9	各階平面図・屋根平面図	1/200	E-2	電気工事 指定資材表 A-K-リスト		HC-2	基礎組立図 壁組立図	1/30
A-10	立面図 断面図	1/200	E-3	配置図	1/200	HC-3	変圧器 水車ポイント図	1/5
A-11	平面詳細図	1/30	E-4	無線テレビ受信設備系統図		HC-4	水車ポイント図1	1/5
A-12	配管図	1/30	E-5	無線設備平面図	1/200	HC-5	水車ポイント図2 給電ポイント図	1/5
A-13	展開図	1/30	E-6	テレビ機設置平面図	1/30 1/100	HC-6	階段詳細図 発付部品図	
A-14	床伏図 天井伏図	1/30	E-7	各戸電灯コンセント設備平面詳細図	1/30			
A-15	建具表	1/50	E-8	分電盤配線図・断面詳細図				
A-16	防水廻り詳細図 1	1/100						
A-17	防水廻り詳細図 2	1/10 1/100						
A-18	防水廻り詳細図 3	1/10 1/30						
A-19	外観標準詳細図							
A-20	発注リスト		P-1	給排水工事特記仕様書				
			P-2	給排水 指定資材表 A-K-リスト				
			P-3	排水設備平面図	1/200			
			P-4	給水設備平面図	1/200			

名称	大森向住宅住戸改善工事	
図面名称	着紙・図面リスト	第
図面番号	0	== 63 8

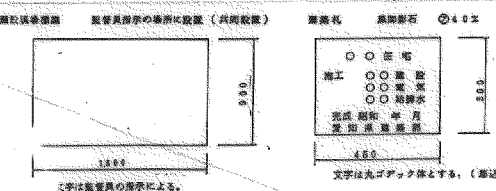
計 愛知県建設部住宅建設課



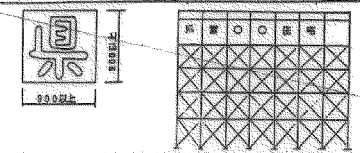
業 種・項目		特 記 事 項 ( 施 工 法 )																											
ユニ 工 事	2 節 根切り及び地盤 5.2.5 掘削し及び盛土	1. 山砂の原 ※ 根切り土中の良質土																											
	3.2.6 盛土処分 早乾路荷試験	1. 焼付試験 ※ 焼付焼出 2. 有 ※ 無 ※ 及び位置 ※ 測定値(焼付荷重の最大値) :																											
	4.1.1 総 則	4. 試験法: * 有 ⊙ 無 試験材料: * 有 * 無 試験装置: * 有 * 無																											
地 盤 工 事	1 節 一般事項																												
	2 節 打込み杭地盤 3 節 埋込み杭地盤 4.2.4 試 験 材 4.2.4	1-4																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>試 験 要 素</th> <th>埋込み杭コンクリート</th> <th>プレストレストコンクリート</th> <th>貫通部のプレストレストコンクリート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>架 設 ・ 耐 震 など</td> <td>(JIS A 5310) * A 種 * B 種</td> <td>(JIS A 5310) * A 種 * B 種 * C 種</td> <td>(JIS A 5310) * A 種 * B 種 * C 種</td> </tr> <tr> <td>径 (φ) (mm)</td> <td></td> <td></td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>長さ (m)</td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>長期設計支持力 (t/本)</td> <td></td> <td></td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>減 量 及 び 腐 食 状 況</td> <td colspan="3">※ 有 し * 有 り (アーク溶接による腐蝕発生)</td> </tr> </tbody> </table>				試 験 要 素	埋込み杭コンクリート	プレストレストコンクリート	貫通部のプレストレストコンクリート	架 設 ・ 耐 震 など	(JIS A 5310) * A 種 * B 種	(JIS A 5310) * A 種 * B 種 * C 種	(JIS A 5310) * A 種 * B 種 * C 種	径 (φ) (mm)			350	長さ (m)			6	長期設計支持力 (t/本)			30	減 量 及 び 腐 食 状 況	※ 有 し * 有 り (アーク溶接による腐蝕発生)		
	試 験 要 素	埋込み杭コンクリート	プレストレストコンクリート	貫通部のプレストレストコンクリート																									
	架 設 ・ 耐 震 など	(JIS A 5310) * A 種 * B 種	(JIS A 5310) * A 種 * B 種 * C 種	(JIS A 5310) * A 種 * B 種 * C 種																									
	径 (φ) (mm)			350																									
	長さ (m)			6																									
	長期設計支持力 (t/本)			30																									
	減 量 及 び 腐 食 状 況	※ 有 し * 有 り (アーク溶接による腐蝕発生)																											
	4.2.7 工 法	- プレキャスト工法 ⊙ 埋込み杭(ポルトランド工法) - 埋込み杭(ポルトランド工法) - プレキャスト工法 ⊙ 埋込み杭(ポルトランド工法) - 埋込み杭(ポルトランド工法)																											
4.2.8	- プレキャスト工法 ⊙ 埋込み杭(ポルトランド工法) - 埋込み杭(ポルトランド工法)																												
4 節 埋込み杭コンクリート地盤	1. ① 異形断面の種別: * SD 30A - SD 35 (JISG 3112 3117)																												
4.4.4 材 質 せ の 他	2. コンクリート コンクリートの設計基準強度 $F_c$ (t/cm <sup>2</sup> ): * 100 * 210 * 225 * 240 水セメント比: * A 種 * B 種 (4.4.1条) - フォトリソ工法 - リバース工法 - オールレンジ工法 長期設計支持力 (t/本): 注 (※) : 埋設長さ (m) :																												
4.4.6 工 法 せ の 他																													
5 節 杭の載荷試験	2. 載荷量(最大荷重): 載 荷 方 法: ライアム数: 3. 試験機の位置関係:																												
3 節 埋込み杭コンクリート地盤	1. コンクリートの種別: * A 種 * B 種 2. コンクリートの長さ: * 30m * 30m:																												
3 節 埋込み杭コンクリート地盤	1. コンクリートの種別: * A 種 * B 種																												
コン クリ ート 工 事	1 節 一般事項																												
	5.1.2 設計基準強度	$F_c$ (t/cm <sup>2</sup> ): ⊙ 100 * 210 * 225 * 240																											
	5.1.3 コンクリートの製造標準	※ Ⅰ種 * Ⅱ種 (5.1.1条)																											
	5.1.4 標準コンクリートの種別	※ Ⅰ種 * Ⅱ種 (5.1.2条)																											
2 節 材 質	※ 標準ポルトランドセメント * 標準セメントのA種 * 標準ポルトランドセメント																												
5.2.2 骨 材	2. 骨材の最大粒径の制限 ※ 0.075mm以下 * 0.075mm以下																												
5.2.4 骨 材 質	※ 使用は、A種及びB種水質標準																												
鉄 骨 工 事	4 節 レザーメッシュコンクリート	1. コンクリートの種別: * JIS A 5308の標準品 * 特注品																											
	5.4.3 レザーメッシュコンクリートの 骨の強度の測定	骨材は「骨材のアルカリシリカ反応試験(化学法)」又は、「骨材のアルカリシリカ反応試験(モルタル法)」による試験により 安全と認められた骨材を使用する。 ※ 骨材量 (C/A) (重量) (kg/m <sup>3</sup> ) ※ 骨材量 (C/A) 以下のものを使用する。																											
	2 節 材料及び構造	2. セグメントの種別: * A 種 * B 種 (5.2.1条)																											
	6.2.1 鋼 骨 及 び セ ー ム																												
	1 節 材 質	異形断面の種別: * SD 24 * SD 30A * SD 30B * SD 35 * SD 40 (JISG 3112 3117)																											
	7.1.1 異 形 断 面	先期の種別: * A種 * B種																											
	7.1.2 丸 鋼	断 面 形 状: ⊙ 正方形 * 長方形																											
	7.1.3 断 面 全 部	寸 法 (mm): ⊙ 20 * T8 ⊙ 100 * 150																											
		鉄線の径 (mm): * 2.0 ⊙ 3.2 * 4.0 * 5.0 * 6.0																											
	2 節 加工及び組立て	7.2.1 組 立 時 加工及び組立ては、鉄骨コンクリート構造標準仕様書R-04による。																											
7.2.2 鉄骨のめくり厚さ及び 腐蝕	4. 鉄骨のめくり厚さ: ⊙ 鋼材規格(D16以上) 標準のめくり厚さ 2. 7.2.1条以外で耐久上不利な箇所及びその最小めくり厚さ:																												
2 節 材 質	1. 鋼 材: (5.2.1条)																												
6.2.1 鋼 材	<table border="1"> <thead> <tr> <th>品 種 番 号</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼材の種別</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材 質 要 求 品</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				品 種 番 号					鋼材の種別					材 質 要 求 品														
品 種 番 号																													
鋼材の種別																													
材 質 要 求 品																													
6.2.2 高 力 ボ ル ト 及 び 特 殊 高 力 ボ ル ト	2. ① 特殊高力ボルトの種別: セグメントの種別:																												
5 節 溶 接 接 合	1. ① 溶接試験、メカ試験: * 行わない * 行う ② 溶接標準試験: * 行わない * 行う 溶接棒・溶接方法:																												
6.4.2 溶接完了後の検査																													
7 節 アンカーボルト	2. * A種 * B種 * C種 (5.7.1条) (5.7.2条) 3. * A種 * B種 (5.7.3条)																												
6.7.2 60tの耐力及び埋込み																													
6.7.4 性能ななし 仕上げ																													
1 節 埋込みコンクリートブ ロック積み (標準)	1. ブロックの種別: * 標準ブロック C種 * 防水ブロック C種 ブロックの長さ(mm): * 100 * 120 * 150 * 180																												
6.1.2 材 質																													
2 節 埋込みコンクリートブ ロック積み (耐力型)	ブロックの種別: * 標準ブロック C種 * 防水ブロック C種 ブロックの長さ(mm): * 100 * 120 * 150 * 180																												
6.2.2 材 質																													
3 節 鉄 骨 材	標準鉄骨材の種別: * Ⅰ種 * Ⅱ種 * Ⅲ種 (JIS B 1200)																												
6.3.1 材 質																													
6.3.2 工 法	2. ① 標準鉄骨材のみ: * 標準工法																												
昭和41年4月 一版改正 昭和42年4月 一版改正																													

表 1 大 阪 府 住 宅 行 政 部 門  
 表 2 住 宅 工 事 施 工 規 格 第 5 - 2 号  
 表 3 表 4  
 A - 2 第 63 - 2 号  
 表 5 愛 知 県 住 宅 行 政 部 門

特記仕様書

業種・項目	特記事項(総則類)										
1. 1. 1.1 運用規定等	1. この特記事項以外は下記に準拠する。ただし、本工程に適合しない項目は適用しない。 1) 通知規程規程 2) 工事実施規程 3) 建設省用地規程 公共施設建設工事共通仕様書(昭和60年度版) 4) 愛知県建築規程 建築工事標準仕様書(昭和60年度訂版) 2. 特記事項は、○印をついたものを適用する。○印のない場合は、※印をついたものを適用する。 ◎印と○印のある場合は、共に適用する。 3. 本工程に使用する素材は、「愛知工事標準仕様書(サービスマン)」によるものとする。 4. 3.5規格と適合した材料は3.5規格の規格のあるものとする。										
1. 1. 1.2 設計図書	設計図書は優先順位：仕様書特記仕様、設計図(標準図以外のもの)、設計図(標準図)、設計書、共通仕様書。										
1. 1. 1.5 施 工	設計図書に於ける仕様は、原則として、入れ換わりによる変更の提出によって、異なるものとする。										
2. 2. 2. 1 解体材・埋戻りなどの処理	1. 引渡しを要するものは、監督員の指示する場所に搬出し、リスト表を作成し、監督員に引渡す。 2. 引渡しを要しないものは、下記記載の項目より分別処理処分とする。 ※通知規程規程 建設標準仕様(昭和63年4月)による。 ※処分方法については、別途仕様書(別紙)の添付資料を参照することとする。										
3. 3. 3. 1 足場・その他	1. 足場、橋脚、リフトなどの設置：※建築工事 2. 仮囲い、さく井の設置：※原則(仮設脚金)=2m、○仮設カラー=縦向き1.8m、○仮囲いH=1.5m、○可動脚金H=1.5m)・不要										
3. 3. 3. 4 監督員事務所	1. 監督員事務所の高さ(※高さ)：○敷ける(1.0・2.0・3.5・4.5・10.0・共同敷設)・敷けない 2. 監督員事務所の高さ： <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>仕上げその他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床</td> <td>敷き又は、ビニルシート</td> </tr> <tr> <td>内壁・天井</td> <td>白壁又は、さく井ボード張り</td> </tr> <tr> <td>壁</td> <td>白色鉄板又は鉄板張り(開口部ペイント張り)</td> </tr> <tr> <td>柱・梁</td> <td>塗装</td> </tr> </tbody> </table> 3. 監督員事務所の高さ 監督員事務所は、監督員の指示を受け、電気・給排水その他の設備を敷け、必要に応じて下記の備品などを置く。 ・机、椅子、書架、換気扇、照明計、電卓、文庫、換気扇、換気扇、換気扇、ガス検知器、両がけ、換気扇、換気扇、換気扇 監督員事務所の高さ、水、ガス及び電線の配線網並びに便所の廃排水などは監督員の責任とする。	名 称	仕上げその他	床	敷き又は、ビニルシート	内壁・天井	白壁又は、さく井ボード張り	壁	白色鉄板又は鉄板張り(開口部ペイント張り)	柱・梁	塗装
名 称	仕上げその他										
床	敷き又は、ビニルシート										
内壁・天井	白壁又は、さく井ボード張り										
壁	白色鉄板又は鉄板張り(開口部ペイント張り)										
柱・梁	塗装										
3. 3. 3. 6 建設標準仕様及び建設工事標準仕様	建設標準仕様 監督員事務所の高さ(共同敷設) 高さは 高さは 40cm  文字は丸ゴシック体とする。(※込み) 建設工事名称 文字は、白丸ゴシック体とし 0.8×0.8以上とする。 取付は、原則として監督員事務所より、敷地内より異なる位置に設置する。										

業種・項目	特記事項(仕様書)
7. 7. 1. 1 起 工	工事概要 1) 本工事 工事現場、敷地及び周辺の道路、建築物、工作物の撤去、カラーにて撤去する。 2) 工事中 右図に於て記載の指定事項を明記し、工事の進捗状況を記載記録すると共に毎に施工後、照べきは、撤去される部分は、撤去後中心座標を記入、撤去のこと。 ① 撤去の指示により撤去する。(ファイル参照#1) 3) 完成時 下記の項目を、すべて記載して、撤去後を明記の上 撤去後、撤去する。[ファイル参照 #1・2] 外 第一カラー 7 個所 内 第一カラー 6 個所 4) その他 本工事の完成後、1面および完成時の(※)の撤去を1面モヤビに撤去して之部撤去する。
7. 7. 2 しゅん工その他	1. 工事完了後、下記しゅん工をA1又は、A2で作成し、撤去する。 1) 仮 設 設 2) 平 面 設 3) そ の 他 2. 下記 撤去を「マイクログリッド」に張り、「ポリエチレンベースB4版」に貼付の上、撤去する。 1) 設 計 図 (愛知設計部会) 2) しゅん工
出 発 書 類	1. 工事完了後 2. 現場資料(資料)一式 3. その他、工事完了に於ける必要書類 (ただし、別紙第3条による工事完了の提出は、別紙第3条第2項に準じて実施する。) 撤去の期間は工事の進捗に引続き行なわれ、(特に定めのない限り)契約上の完成日以後14日とする。



作業	
名称	
位置	
工事	
備考	
年月日	

業種・項目	特記事項(仕様書)																																																																																																																																																																										
1. 1. 1. 2 運送工事との取合い	○印適用 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工事名</th> <th colspan="5">工事区分</th> <th rowspan="2">高</th> <th rowspan="2">水</th> <th rowspan="2">×</th> <th rowspan="2">開</th> <th rowspan="2">Y</th> </tr> <tr> <th>運</th> <th>電</th> <th>給</th> <th>ガ</th> <th>井</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設標準仕様</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>排水</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>撤 除</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>フロアプレシジョン・ハードウェア</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>各種器具及び機器</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>仮設カラー</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>クーラー用スリーブ</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>居室、居室、換気扇</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>仮設防壁及び給湯</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>仮設スリーブ撤去</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>仮設スリーブ撤去後撤去</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>仮設スリーブ撤去後撤去</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高層水撤去</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>仮設防壁撤去+部材撤去</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工事名	工事区分					高	水	×	開	Y	運	電	給	ガ	井	建設標準仕様	○										排水			○								撤 除											フロアプレシジョン・ハードウェア			○								各種器具及び機器	○										仮設カラー			○								クーラー用スリーブ			○								居室、居室、換気扇			○								仮設防壁及び給湯			○								仮設スリーブ撤去			○	○	○						仮設スリーブ撤去後撤去			○								仮設スリーブ撤去後撤去			○								高層水撤去											仮設防壁撤去+部材撤去	○	○	○	○						
工事名	工事区分					高	水						×	開	Y																																																																																																																																																												
	運	電	給	ガ	井																																																																																																																																																																						
建設標準仕様	○																																																																																																																																																																										
排水			○																																																																																																																																																																								
撤 除																																																																																																																																																																											
フロアプレシジョン・ハードウェア			○																																																																																																																																																																								
各種器具及び機器	○																																																																																																																																																																										
仮設カラー			○																																																																																																																																																																								
クーラー用スリーブ			○																																																																																																																																																																								
居室、居室、換気扇			○																																																																																																																																																																								
仮設防壁及び給湯			○																																																																																																																																																																								
仮設スリーブ撤去			○	○	○																																																																																																																																																																						
仮設スリーブ撤去後撤去			○																																																																																																																																																																								
仮設スリーブ撤去後撤去			○																																																																																																																																																																								
高層水撤去																																																																																																																																																																											
仮設防壁撤去+部材撤去	○	○	○	○																																																																																																																																																																							

昭和61年4月 一 改正

63-2002

業 種	建設工事
業 種	建設工事
業 種	建設工事
業 種	建設工事

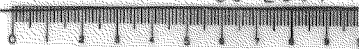
部 品 名	特 記 事 項 ( 規 格 等 )																												
2 部 アスファルト防水	(10.2.1~10.2.5 部)																												
10.2.1 部	・基礎部分防水層(建築工法) ・基礎部分防水層(建築工法)																												
10.2.2 材	・基礎部分防水層(建築工法-1) ・基礎部分防水層(建築工法-2) (砂付アスファルト)																												
10.2.3 材	2. アスファルトフット: № 90年品 ・ 40年品 (JIS A 6005) アスファルトフタ: № 95年品 ・ 40年品 (JIS A 6006)																												
10.2.4 部 水 層 厚 さ	6. アスファルト: № 基礎防水は3層、保護防水は1層又は2層 砂付アスファルト: № 40年品 (JIS A 6007) 保護層の構造: № 幅25.0の合成樹脂防水材の厚さ																												
3 部 塗 膜 防 水	厚膜工法新工法 ※ゴムアスファルトエマulsion (JIS A 6021)																												
10.3.0 材	厚膜防水工法: №ウレタン系(JIS A-6021)																												
4 部 合成高分子ルーフィング防水																													
10.4.0 材	1. ルーフィングの仕様及び厚さ: (JIS A 6008)																												
5 部 シーリング材	(10.5.1 部)																												
10.5.0 材	4. <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>耐久年</th> <th>材 質</th> <th>使 用 場 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 種</td> <td>30年</td> <td>・シリコンシーリング材(1成分)高モジュラス部 ・シリコンシーリング材(1成分)低モジュラス部 ・シリコーンシーリング材(2成分) ・ポリウレタンシーリング材(2成分)</td> <td>・天井内側壁ガラス部</td> </tr> <tr> <td>B 種</td> <td>30年</td> <td>①高純シリコンシーリング材(2成分) ・シリコンシーリング材(1成分)高モジュラス部 ・シリコンシーリング材(2成分)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C 種</td> <td>30年</td> <td>・シリコンシーリング材(2成分) ・ポリアクリレートシーリング材(2成分) ・高純シリコンシーリング材(2成分)</td> <td>その他の箇所</td> </tr> <tr> <td>D 種</td> <td>70年</td> <td>・ウレタンシーリング材(2成分)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>E 種</td> <td>70年</td> <td>・エポキシ樹脂系ポリウレタンシーリング材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>F 種</td> <td>-</td> <td>・エポキシ樹脂系ポリウレタンシーリング材</td> <td>天井部化粧具部</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 標準仕様書の適用: ・する しない  アスファルト防水: № 10年  塗 膜 防 水: № 10年  合成高分子ルーフィング防水: № 10年  セメント防水: № 5年</p>	種 別	耐久年	材 質	使 用 場 所	A 種	30年	・シリコンシーリング材(1成分)高モジュラス部 ・シリコンシーリング材(1成分)低モジュラス部 ・シリコーンシーリング材(2成分) ・ポリウレタンシーリング材(2成分)	・天井内側壁ガラス部	B 種	30年	①高純シリコンシーリング材(2成分) ・シリコンシーリング材(1成分)高モジュラス部 ・シリコンシーリング材(2成分)		C 種	30年	・シリコンシーリング材(2成分) ・ポリアクリレートシーリング材(2成分) ・高純シリコンシーリング材(2成分)	その他の箇所	D 種	70年	・ウレタンシーリング材(2成分)		E 種	70年	・エポキシ樹脂系ポリウレタンシーリング材		F 種	-	・エポキシ樹脂系ポリウレタンシーリング材	天井部化粧具部
種 別	耐久年	材 質	使 用 場 所																										
A 種	30年	・シリコンシーリング材(1成分)高モジュラス部 ・シリコンシーリング材(1成分)低モジュラス部 ・シリコーンシーリング材(2成分) ・ポリウレタンシーリング材(2成分)	・天井内側壁ガラス部																										
B 種	30年	①高純シリコンシーリング材(2成分) ・シリコンシーリング材(1成分)高モジュラス部 ・シリコンシーリング材(2成分)																											
C 種	30年	・シリコンシーリング材(2成分) ・ポリアクリレートシーリング材(2成分) ・高純シリコンシーリング材(2成分)	その他の箇所																										
D 種	70年	・ウレタンシーリング材(2成分)																											
E 種	70年	・エポキシ樹脂系ポリウレタンシーリング材																											
F 種	-	・エポキシ樹脂系ポリウレタンシーリング材	天井部化粧具部																										
各種防水の保証期間	追加 耐久年 規 格 C 種 30年 ・ポリウレタンシーリング材(1成分) ① ポリウレタンシーリング材(2成分)																												
11 部 工 事	4 部 テラズタイル張																												
11.0.1 部	1. テラズタイルの仕様、形状、寸法: ・300形(石) ・400形(石)																												
12 部 工 事	1 部 一 般 事 項																												
12.1.2 工 事 の 数 別	(12.2.4 部)																												
工 事 の 種 別	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工 事 の 種 別</th> <th>種 別</th> <th>仕 様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">外</td> <td>・圧着張り</td> <td>・圧着張り</td> </tr> <tr> <td>・改良型上げ張り</td> <td>・改良型上げ張り(マス張り)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内</td> <td>・圧着張り</td> <td>・圧着張り</td> </tr> <tr> <td>・改良型上げ張り</td> <td>・改良型上げ張り(マス張り)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">床</td> <td>・圧着張り</td> <td>・圧着張り</td> </tr> <tr> <td>・改良型上げ張り</td> <td>・改良型上げ張り(マス張り)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">床</td> <td>・アライタイプ(タリコートタイプ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アライタイプ(一般タイプ)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工 事 の 種 別	種 別	仕 様	外	・圧着張り	・圧着張り	・改良型上げ張り	・改良型上げ張り(マス張り)	内	・圧着張り	・圧着張り	・改良型上げ張り	・改良型上げ張り(マス張り)	床	・圧着張り	・圧着張り	・改良型上げ張り	・改良型上げ張り(マス張り)	床	・アライタイプ(タリコートタイプ)		・アライタイプ(一般タイプ)						
工 事 の 種 別	種 別	仕 様																											
外	・圧着張り	・圧着張り																											
	・改良型上げ張り	・改良型上げ張り(マス張り)																											
内	・圧着張り	・圧着張り																											
	・改良型上げ張り	・改良型上げ張り(マス張り)																											
床	・圧着張り	・圧着張り																											
	・改良型上げ張り	・改良型上げ張り(マス張り)																											
床	・アライタイプ(タリコートタイプ)																												
	・アライタイプ(一般タイプ)																												

2 部 材 料 ・ 工 法	
12.2.1 材	1. 形状・寸法: 設物: ・あり ・なし 2. 保護層のルーフィング材: ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種 (10.5.1 部) 3. 仕様書: № エポキシ樹脂系 保護層の品質試験: № しない ・する
12.2.3 工	1. (1) 保護層の位置: (2) 保護層厚さルーフィングの寸法: № 幅10以上、長さ7以上
12.2.4 工 法	3. タイルの裏付けモルタル: №プレックス(既設)モルタル 4. 試験張り・耐力試験及び試験り検査: № しない ・する
3 部 陶 磁 質 タ イ ル 張 付 先 行 付	
12.3.2 タイル張付先行の種別	種 別: ・タイル張付法 ・目地塗布法 ・板張法 (12.3.1 部)
12.3.3 材	1. タイルの寸法: ・縦割型 ・→割型 2. (1) 設 物: ・あり ・なし (2) 保護層のルーフィング材: ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種 (10.5.1 部)
12.3.5 工	1. (1) 保護層厚さルーフィングの厚さ寸法: № 幅20以上、長さ10以上
1 部 一 般 事 項	
13.1.0 水	2. 用材の仕様及び品質: № 各層の仕様による (13.1.1 部) 化粧用化粧材の仕様: №ベニヤ、シトコスワールなどの種類 (13.1.2 部) 3. 種 別: №代用種は認めない 認めえる (13.1.3 部)
13.1.4 取付け用材料及び工法	木造非組み用アンカー後付け金物の仕様: № エポキシ樹脂系 (13.1.4 部)
13.1.6 防 水 層 厚 さ	・する ①しない
11 部 庭 境 野 地 ・ 野 田 田 池 等 の 他	
13.1.1 敷 設 ・ 保 護 工 法	野地敷: №コンクリート張付用仕様(JAS 2種)
2 部 装 置 施 工	
14.2.1 取 付 材	2. 取付メッキの種類: № A種 ・B種 ・C種 (14.2.1 部) (1) 取付部めっきの付着量: ・A種 №B種 (14.2.2 部) 取付部めっきの種類: ・A種 №B種 ・C種 (14.2.3 部) (2) 取付部めっきの厚さの最低限度(片側φ/mm): ・20 ・30 ・40 ・50 5. 取付部めっきの種類: ・する しない
3 部 長 尺 瓦 貼 付 工	
14.3.1 瓦	1. 瓦の寸法: ・瓦の寸法(寸法なし) ・平瓦 (14.3.1 部)
14.3.2 材	1. 長尺瓦の種類: ・着色瓦貼付用の瓦(片側着色瓦貼付(JIS G 3312) ・両側着色瓦貼付(JIS G 3312) ・無着色瓦貼付(JIS G 3302) 2. 瓦の厚さ(mm): ・0.2T ・0.3 ・0.35 №0.40 ・0.5 ・0.5 3. 下おき材料(アスファルトルーフィング材): № 2種品 ・3種品 ・4種品
4 部 止	
14.4.1 材	1. 止の仕様: ・設置用仕様(JIS G 3442) ・既設強化ビニル管(JIS K 6741のP) ・既設強化ビニル管(JIS K 6741のU) (14.4.1 部) 2. 止の取付け: ・取付部めっきを行った鋼製 既設強化ビニル管

昭和41年4月 一般仕様

図 号	図 名	図 種	図 尺
10.2.1	基礎部分防水層(建築工法)	2	1/2
10.2.2	基礎部分防水層(建築工法-1)	2	1/2
10.2.3	基礎部分防水層(建築工法-2)	2	1/2
10.2.4	基礎部分防水層(建築工法-3)	2	1/2
10.2.5	基礎部分防水層(建築工法-4)	2	1/2
10.3.0	厚膜防水工法	2	1/2
10.4.0	合成高分子ルーフィング防水	2	1/2
10.5.0	シーリング材	2	1/2
11.0.1	テラズタイル張	2	1/2
12.1.2	一般事項	2	1/2
14.2.1	取付材	2	1/2
14.3.1	長尺瓦貼付工	2	1/2
14.4.1	止	2	1/2

63-2004



款	項	目	特 記 事 項 ( 建 築 記 )															
14	14.4	14.4.4 鋼管製といの工仕	2. 印 刷 部 : ※しない ・する (14.4.4条)															
		14.4.7 補 修 口	補修口の位置 : ※避けない ・取ける(指示)															
	7 節 鍵 金 物	14.7.1	カーテンレール	1. 材 質 : ※ステンレス鋼・アルミニウム 形 状 : ※C型 ・D型 ・I型 印材の印刷 : ※ステンレス鋼(SUS304) ・亜鉛めっきを付った鋼製(14.2.1条のA類)														
		14.7.2	ク ラ ッ プ	1. 材 質 : ※ステンレス鋼(SUS304)														
		14.7.4	ノ ン ス リ ッ プ	1. 材 質 : ※ステンレス鋼(SUS304)														
		14.7.5	用 意 用 地 坪	1. 材 質・形 状・寸 法 : ※ステンレス鋼線 (4#×12#)														
14.7.6	コーナード	材 質 : ※ステンレス鋼 ・アルミニウム																
15	2 節 モ ル タ ル 塗	15.2.2	嵌合及び張り厚	L・H 15.2.1条 ・張り厚は図面による														
		4 節 仕 上 塗 材 仕 上 げ	15.4.2	下 地 処 理	B. 補修シーリング用材料 : ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種 (10.5.1条)													
	15.4.5		床 面 仕 上 塗 材	2. 材料種類 : ・E ・RE ・CE 仕 上 げ : ・メタリック ・光沢 ・つや消し														
	15.4.6	壁 面 塗 料 仕 上 げ	(1) 材料種類 : ・セメント系 ・塩化樹脂系 ・合成樹脂エマルジョン系 厚さ(㎜) : ※5															
16	5 節 クリアラッカー塗	16.5.1	塗 り 工 程	・A種 ※B種														
		7 節 溶剤系樹脂系塗料塗	16.7.2	溶剤系樹脂系塗料塗	2. 硬化ビス樹脂系塗料 : ※JIS K 6582の1種 ・2種 ・3種													
	11 節 マスチック塗料ロー	16.11.3	塗 り 工 程 等	1. <table border="1"> <tr> <td>種 別</td> <td>A・AE・AS</td> <td>B・BE</td> <td>C</td> <td>CE</td> </tr> <tr> <td>工法・0.4の仕上りの種類</td> <td>溶剤系・エマルジョン系</td> <td>エマルジョン系</td> <td>溶剤系</td> <td>エマルジョン系(16.11.3条)</td> </tr> <tr> <td>凸面処理</td> <td>A・T C・T</td> <td>※しない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (16.11.3条)	種 別	A・AE・AS	B・BE	C	CE	工法・0.4の仕上りの種類	溶剤系・エマルジョン系	エマルジョン系	溶剤系	エマルジョン系(16.11.3条)	凸面処理	A・T C・T	※しない	
種 別	A・AE・AS	B・BE	C	CE														
工法・0.4の仕上りの種類	溶剤系・エマルジョン系	エマルジョン系	溶剤系	エマルジョン系(16.11.3条)														
凸面処理	A・T C・T	※しない																
17	2 節 金 属 製 建 具 ( 鋼 製 建 具、アルミニウム合金製建具、ステンレス鋼製建具)	17.2.1	一 般 事 項	1. アルミニウム合金製建具 : ※BL製品 ⊙DL技術的基準に準ずる(1800×1650) 鋼 製 建 具 : ※BL製品														

款	項	目	特 記 事 項 ( 建 築 記 )	
17	3 節 木 製 建 具	17.3.1	一 般 事 項	1. (1) 木製ラッシュ戸 : ※BL製品 ・以外のもの (2) 木製まる戸 : ※BL製品 ⊙以外のもの 形 状・寸 法 及 び 裏 面 仕 上 げ : ※図面による
		17.3.2	工 程 ・ 組 立 工	1. 取組む寸法(幅・高さ) 取組むの仕上がり寸法(幅) : ※ラワン08仕上げ 取 18.5×18.5 上 80×16.5 Y 24×16.5 取組むの寸法(幅) : ※ 20×16.1 取組むの寸法(幅) : ※ 8×15.1 2本 取組むの寸法(幅) : ※ 8×15.1 20本 取組むの寸法(幅) : ※ 1.5 取組むの寸法(幅) : ※ 0.5-0.7 2. 用よす寸法 取組むの厚さ(幅) : ※プリント合板 27 取組むの厚さ(幅) : ※2.2(プリント合板 4) 取組むの厚さ(幅) : ※3.0
		17.3.3	工 程 ・ 組 立 工	1. 取組む寸法(幅・高さ) 取組むの仕上がり寸法(幅) : ※ラワン08仕上げ 取 18.5×18.5 上 80×16.5 Y 24×16.5 取組むの寸法(幅) : ※ 20×16.1 取組むの寸法(幅) : ※ 8×15.1 2本 取組むの寸法(幅) : ※ 8×15.1 20本 取組むの寸法(幅) : ※ 1.5 取組むの寸法(幅) : ※ 0.5-0.7 2. 用よす寸法 取組むの厚さ(幅) : ※プリント合板 27 取組むの厚さ(幅) : ※2.2(プリント合板 4) 取組むの厚さ(幅) : ※3.0
17	5 節 建 具 用 金 物	17.5.1	一 般 事 項	2. 寸法の方法 : ※図面による (17.5.1条) 3. コンストラクションキー : ⊙不要 ※要 キーは、アクリル製番号札をつけ、ステール製に収納して提出する。(キーは3本)
		17.5.2	建 具、材 質、仕 上 げ 及 び 寸 法	(2) ドアフローパー : ※BLマーク表示品(※1種(階段タイプ) ⊕2種(廊下タイプ))
17	6 節 ガ ・ ラ ス	17.6.1	材 質	1. ガラスの厚さ : ※図面による
		17.6.2	材 料 ・ 工 法	スレートの種類 : 鋼製 ・大板 ・中板 ・小板 ・リブ製 鋼 製 ・大板 ・中板 ・小板 ・リブ製
17	3 節 塗 装 工	17.3.1	材 質	※塗料は公認住宅塗料工業会規格による。
		17.3.2	工 程	1. ビニル床シート張り 色 別 : ※無地 ・模様
17	フ ロ ス 貼	17.2.1	一 般 事 項	※ 貼 上 時 刻 間 隔 は ① 変 形 耐 性 ビ ニ ル 床 材 取 扱 説 明 書 ② 取 扱 説 明 (1) 取 扱 説 明 書 ③ 取 扱 説 明 書 ④ 取 扱 説 明 書 ※ PC板貼付は上記の②・③とする。(上記を除外)

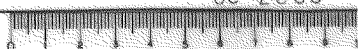
BL製品		
名 称	種 別	
木 製 ド ア ー	※ A 型	・ B 型
	※ 普通種	・ 気密種
ビ ン イ ン フ ー ド ド ア ー	※ 普通種	・ J 種 ※ 方 向 別 ・ 折 り 付 け 別
ア ル ミ ウ ァ ン	※ A 型	・ B 型 ・ C 型 ・ 断 熱 ウ ァ ン
ス テ ン レ ス ウ ァ ン		

BL製品以外の材質・形状・寸法及び仕様 : ※図面による  
4. 取組む寸法 : ・合成樹脂製 ※ステンレス製 ・ガラス製入り合成樹脂製

昭和61年4月 一部改正

図 号	大 工 事 用 図 集 5-4
図 名	住 居 工 事 用 図 集 5-4
図 尺	1/100
製 図 者	住 友 建 設 株 式 有 限 公 司

63-2005



章	部	項目	特記事項 (建築仕様)	
7	部	ビニル床タイル張り	1. ①ビニル床タイルの種類: ・半硬質ビニル床タイル ・軟質ビニル床タイル 両方ともビニル床タイル	
			18.7.1 材 料	2. ビニル床タイルの厚さ (mm): ※2.0 ・3.0
			18.7.2 工 法	3. ビニル床タイルの継ぎ目: ※軟質 ・硬質
			18.7.3 材 料	4. ビニル床タイルの高さ (mm): ※3.0 ・7.5 ・10.0
			18.7.4 工 法	
8	部	合成樹脂張り床	1. ①合成樹脂の種類: ※2.0	
			18.8.2 材 料	2. ②仕上の種類: ※平滑仕上げ ・防塵仕上げ ・つや消し仕上げ (18.8.1表)
			18.8.3 工 法	3. ③合成樹脂の厚さ: ※2.0
			18.8.4 工 法	4. ④合成樹脂の仕上の種類: ※平滑仕上げ ・防塵仕上げ ・防塵仕上げ (18.8.2-4表)
9	部	石こぶボード、その他のボード及び合板張り	1. 合板の種類: ※ラワン ・国内産合板 (18.9.2表)	
			18.9.1 材 料	2. 特殊加工化粧合板の種類: ○W ・SW
			18.9.2 工 法	3. 化粧石こぶボードの止付け釘: ※カラー釘 (18.9.4表)
			18.9.3 工 法	4. 合板張りの張付け: ・A張 ※B張
10	部	壁紙張り	1. 壁紙の種類: ○AA紙	
			18.10.1 材 料	2. 防火性能の等級: ・1級 ○2級
12	部	カーペット敷き	1. カーペットの種類: ・A種 ・B種 (18.12.1表)	
			18.12.2 材 料	2. タフタッドカーペットの種類: ・A種 ・B種
			18.12.3 工 法	3. 下敷き材: ・敷き込み工法: ※クリップ工法 ・全面接着工法
13	部	断熱及び防露工法	1. 断熱材の種類: ○AA紙	
			18.13.2 材 料	2. 断熱材の厚さ: ・1級 ○2級
			18.13.3 工 法	3. 断熱材の施工: ※S工法 (ふた張り工法) ・S工法 (先行込み工法) (18.13.2表)
15	部	内装グレブ工法	1. 断熱材の種類: ※S工法 (ふた張り工法) ・S工法 (先行込み工法) (18.13.2表)	
			18.15.1 断 熱 材	2. 断熱材の厚さ: ※2.0
			18.15.2 断 熱 材	3. 断熱材の施工: ※S工法 (ふた張り工法) ・S工法 (先行込み工法) (18.13.2表)
19	部	仕上げユニット、その他工事	1. ①種類: ・Aタイプ ・Bタイプ	
			19.1.1 窓 窓 ユ ニ ッ ト	②形状、寸法 (内径):
			19.1.2 窓 窓 ユ ニ ッ ト	③材質: ・アルミ合金合板 ・強化ビニル樹脂合板 ・FRP ・アルミ合金合板
			19.1.3 窓 窓 ユ ニ ッ ト	④断熱材の種類: ・断熱材による
			19.1.4 窓 窓 ユ ニ ッ ト	⑤断熱材の厚さ: ※2.0
19.1.5 窓 窓 ユ ニ ッ ト	⑥断熱材の施工: ※S工法 (ふた張り工法) ・S工法 (先行込み工法) (18.13.2表)			
19.2.1 窓 窓 ユ ニ ッ ト	⑦断熱材の種類: ・断熱材による			
19.2.2 窓 窓 ユ ニ ッ ト	⑧断熱材の厚さ: ※2.0			
19.2.3 窓 窓 ユ ニ ッ ト	⑨断熱材の施工: ※S工法 (ふた張り工法) ・S工法 (先行込み工法) (18.13.2表)			

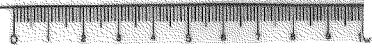
材 料 名	規 格	厚 さ (mm)
① フォームガラスボードの種類 (JIS A 9522のB種)	・1種 ※2種 ・3種	※25 ・30 ・40 ・50
② グラスウールボードの区分	※ 片側区分はV	・50 ・75 ・90 ・100
③ ポリエチレンフォーム	※ 1種	・0.1 ※0.15

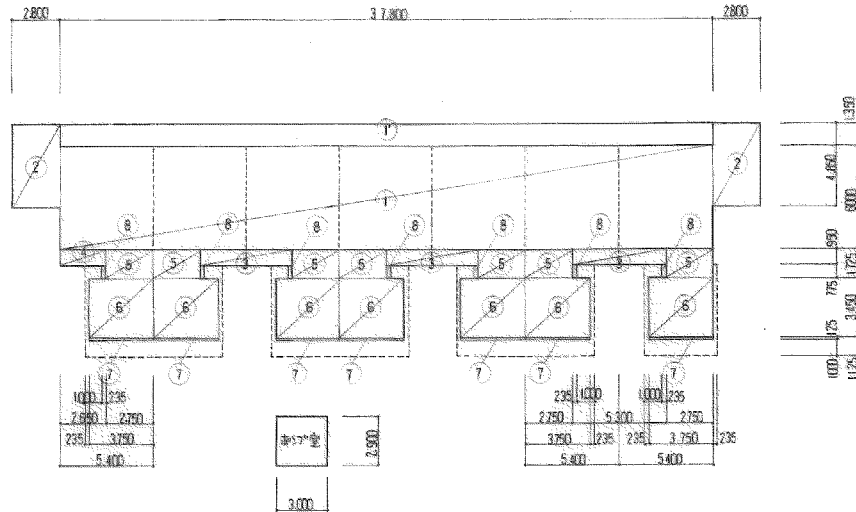
章	部	項目	特記事項 (建築仕様)	
20	部	一般事項	1. ①断熱材の種類: ※S工法 (ふた張り工法) ・S工法 (先行込み工法) (18.13.2表)	
			20.1.2 断 熱 材	2. 断熱材の厚さ: ※2.0
			20.1.3 断 熱 材	3. 断熱材の施工: ※S工法 (ふた張り工法) ・S工法 (先行込み工法) (18.13.2表)
			20.2.1 窓 窓 ユ ニ ッ ト	4. 断熱材の種類: ・断熱材による
			20.2.2 窓 窓 ユ ニ ッ ト	5. 断熱材の厚さ: ※2.0
			20.2.3 窓 窓 ユ ニ ッ ト	6. 断熱材の施工: ※S工法 (ふた張り工法) ・S工法 (先行込み工法) (18.13.2表)
			20.2.4 窓 窓 ユ ニ ッ ト	7. 断熱材の種類: ・断熱材による
21	部	コンクリート	1. ①コンクリートの種類: ※S工法 (ふた張り工法) ・S工法 (先行込み工法) (18.13.2表)	
			21.1.1 窓 窓 ユ ニ ッ ト	2. 断熱材の種類: ・断熱材による
			21.1.2 窓 窓 ユ ニ ッ ト	3. 断熱材の厚さ: ※2.0
			21.1.3 窓 窓 ユ ニ ッ ト	4. 断熱材の施工: ※S工法 (ふた張り工法) ・S工法 (先行込み工法) (18.13.2表)
			21.1.4 窓 窓 ユ ニ ッ ト	5. 断熱材の種類: ・断熱材による
			21.1.5 窓 窓 ユ ニ ッ ト	6. 断熱材の厚さ: ※2.0
			21.1.6 窓 窓 ユ ニ ッ ト	7. 断熱材の施工: ※S工法 (ふた張り工法) ・S工法 (先行込み工法) (18.13.2表)
22	部	プレキャストコンクリート	1. ①プレキャストコンクリートの種類: ※S工法 (ふた張り工法) ・S工法 (先行込み工法) (18.13.2表)	
			22.1.1 窓 窓 ユ ニ ッ ト	2. 断熱材の種類: ・断熱材による
			22.1.2 窓 窓 ユ ニ ッ ト	3. 断熱材の厚さ: ※2.0
			22.1.3 窓 窓 ユ ニ ッ ト	4. 断熱材の施工: ※S工法 (ふた張り工法) ・S工法 (先行込み工法) (18.13.2表)
			22.1.4 窓 窓 ユ ニ ッ ト	5. 断熱材の種類: ・断熱材による
			22.1.5 窓 窓 ユ ニ ッ ト	6. 断熱材の厚さ: ※2.0
			22.1.6 窓 窓 ユ ニ ッ ト	7. 断熱材の施工: ※S工法 (ふた張り工法) ・S工法 (先行込み工法) (18.13.2表)

昭和41年4月 一編改正  
昭和42年4月 一編改正

※ 大規模住宅団地建設工事	
※ 建築工事関係仕様書 5-5	
※ 建築工事関係仕様書 5-5	
※ 建築工事関係仕様書 5-5	

63-2006





面積表	
甲種地積	住居地積 <sup>1</sup>
防火地域	準防火地域 <sup>1</sup>
敷地面積	1078.77 M <sup>2</sup>
建築面積	487.23 M <sup>2</sup>
延床面積	1924.90 M <sup>2</sup>
建築比率	487.23 / 1078.77 = 4.52 / 10 < 6 / 10
容積率	1924.9 / 1078.77 = 17.84 / 10 < 20 / 10

既設部分 建築面積 (M <sup>2</sup> )		
①	37.8 x 2.35	277.83
②	2.8 x 4.85 x 2	27.16
③	5.3 x 0.95 x 3	15.105
④	2.65 x 0.95	2.5175
合計		322.6125

既設部分 床面積 (M <sup>2</sup> )		
①	37.8 x 6.0	226.8
②	2.8 x 4.85 x 2	27.16
合計		253.96
合計	253.96 x 5	1269.80

建築面積 (単位M <sup>2</sup> )			
建物	既設部分	増築部分	合計
住棟	322.61	128.32	450.93
自転車置場	27.6		27.6
トイレ室	8.7		8.7
合計	358.91	128.32	487.23

増築部分 建築面積 (M <sup>2</sup> )		
⑤	2.75 x 1.725 x 7	33.20625
⑥	3.75 x 3.45 x 7	90.5625
⑦	3.75 x 0.125 x 7	3.28125
⑧	0.235 x 0.775 x 7	1.274875
合計		128.324875

増築部分 床面積 (M <sup>2</sup> )		
⑤	2.75 x 1.725 x 7	33.20625
⑥	3.75 x 3.45 x 7	90.5625
合計		123.76875
合計	123.76 x 5	618.80

延床面積 (単位M <sup>2</sup> )			
建物	既設部分	増築部分	合計
住棟	1269.80	618.80	1888.60
自転車置場	27.6		27.60
トイレ室	8.7		8.70
合計	1306.10	618.80	1924.90

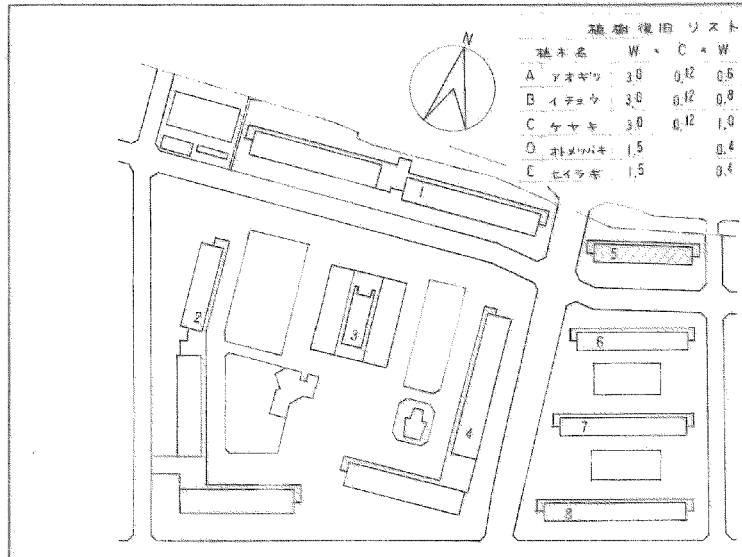
1戸当たり床面積 (単位M <sup>2</sup> )			
	既設部分	増築部分	合計
建築基準法	32.40	17.68	50.08
公住法	33.55	19.08	52.63

既設: 5.4 x 6 = 32.4  
 増築: 2.75 x 1.725 + 3.75 x 3.45 = 17.6875  
 既設(住棟): 2.65 x 0.95 = 2.5175 x 1/3 = 1.15  
 増築(住棟): 3.75 x 1.125 = 4.21875 x 1/3 = 1.40

自転車置場 面積: 6 x 1.5 x 2 + 6 x 1.5 x 1 = 27.6  
 トイレ室 面積: 3.0 x 2.9 = 8.7

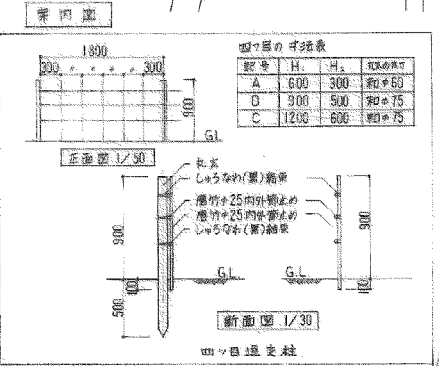
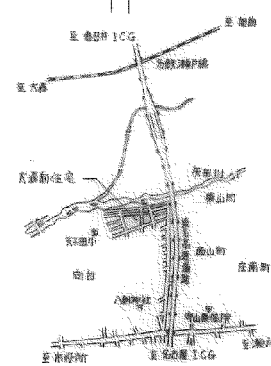
名 称 大森向住宅住戸改善工事	
図面名称	面積表
図面番号	A - 3
設計	愛知県建築部住宅建設課



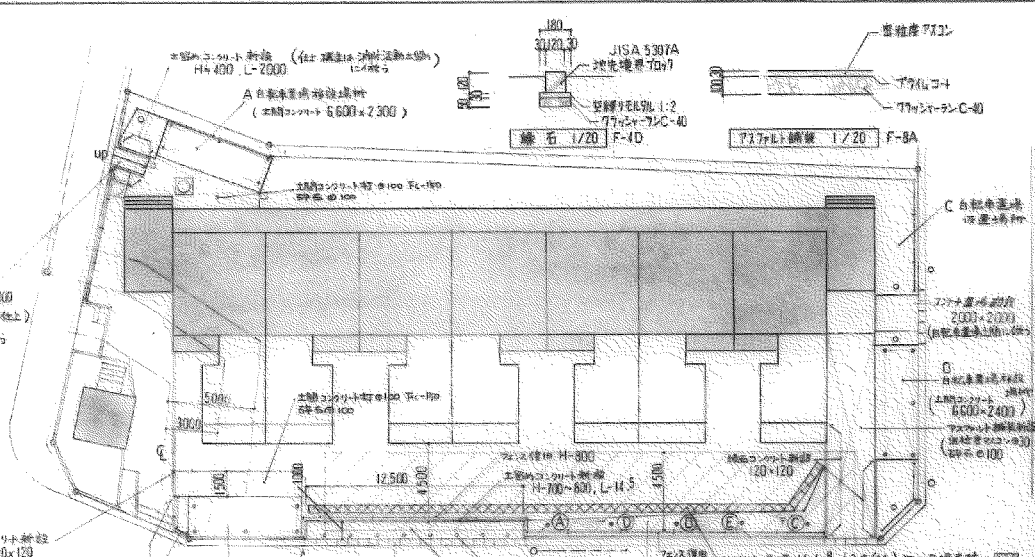


基礎復旧リスト (各1本)

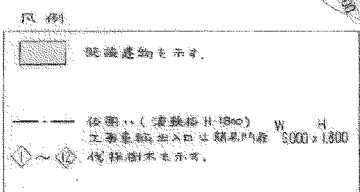
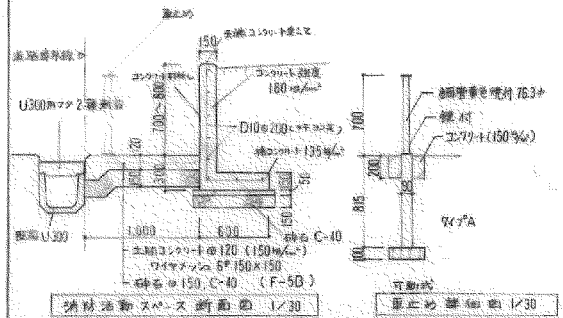
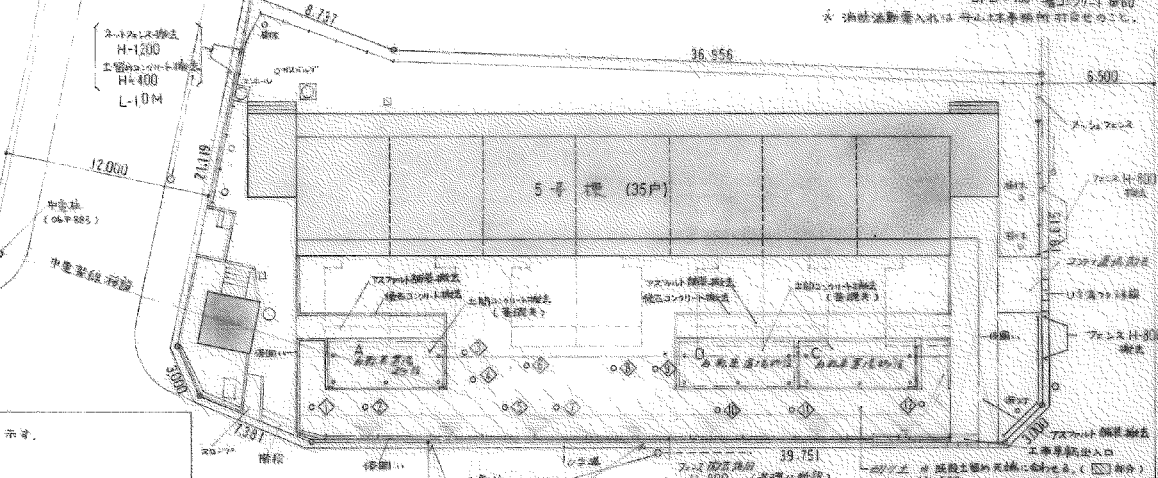
柱名	W	C	W	支柱
A アオキツ	3.0	0.12	0.5	基礎補強支柱 MS2A
B イチキ	3.0	0.12	0.8	1 1
C ケヤキ	3.0	0.12	1.0	1 1
O オトメバキ	1.5	0.4		基礎補強支柱 TS-2
E セイラキ	1.5	0.4		1 1



スロープ新設 W=1000  
(土留コンクリート躯体(地上))  
自転車道舗装土留=0.6



階段コンクリート新設  
120x120

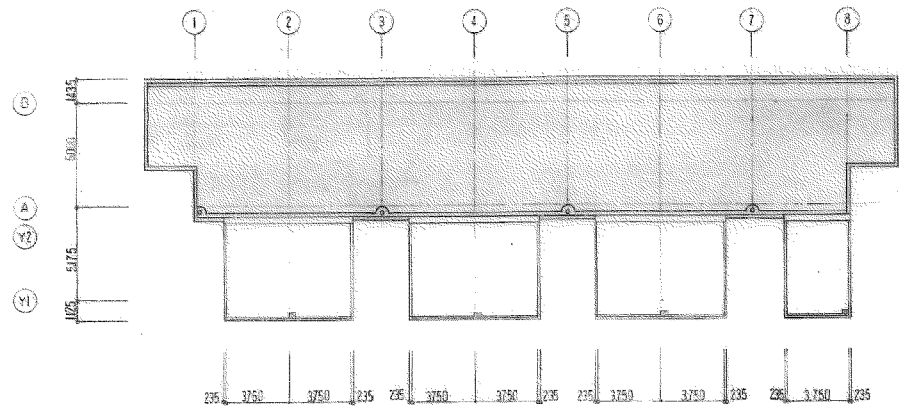


※ 地上部分には工事終了後 現状復旧します。(自転車道舗装及び階段活動スペース以外)  
※ 中電柱は架線支線移設する。(中電線併用は施工)

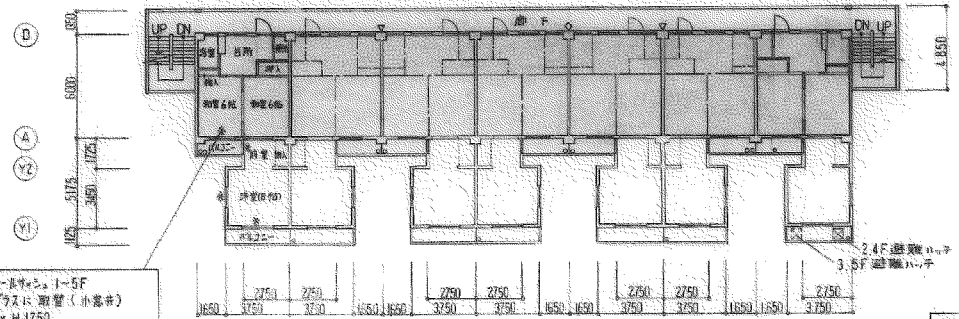
名称	大森南住宅住宅改善工事	
図面名称	配置図・付近見取図	1/200/50/30/20
図面番号	A-7	冊数 G3-8

設計 愛知県建築部住宅建設課



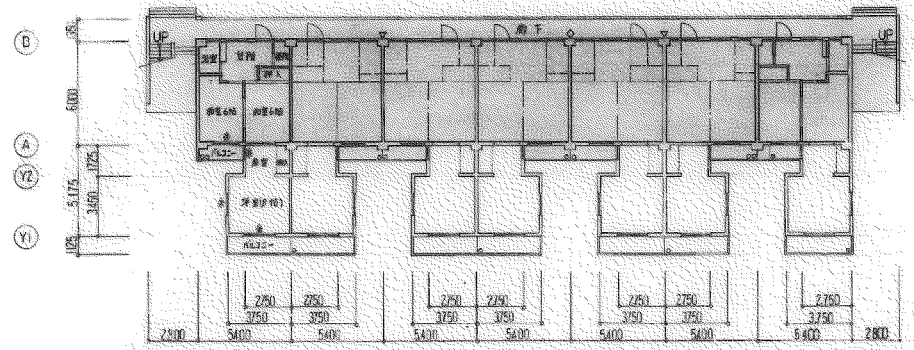


■ 屋根平面図 1/200



階段入り-エレベーター-5F  
アミ入 ガラス仕 取替 (小窓付)  
W1500 x H1750

■ 2-5階平面図 1/200

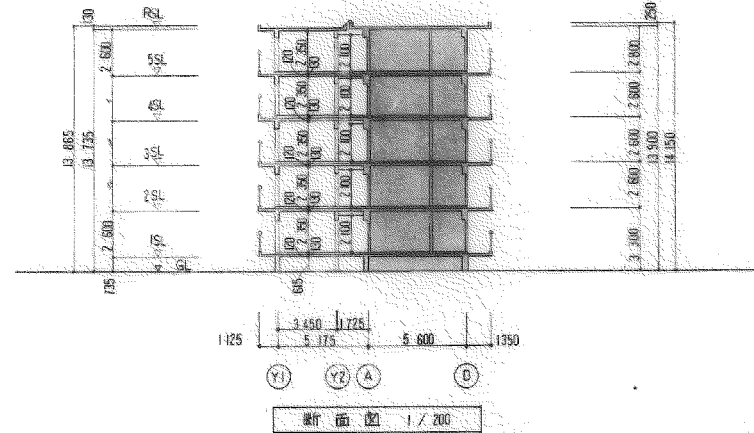
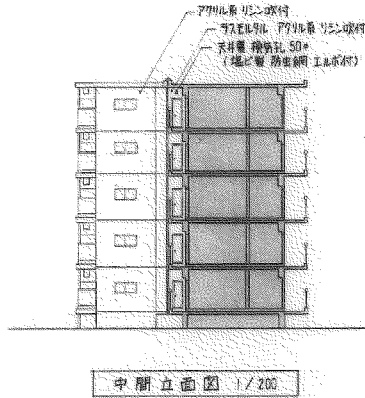
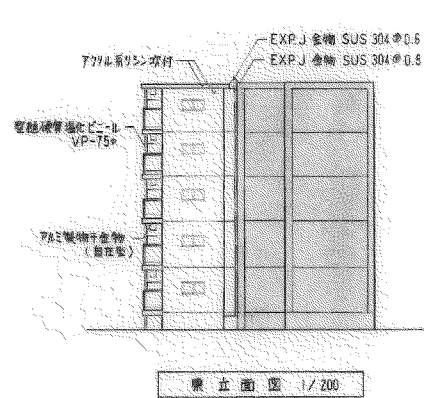
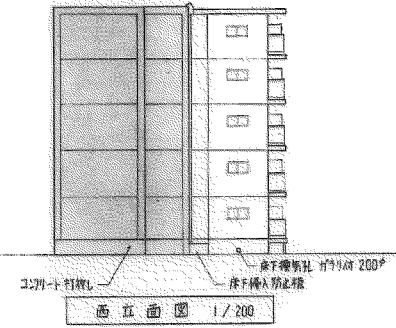
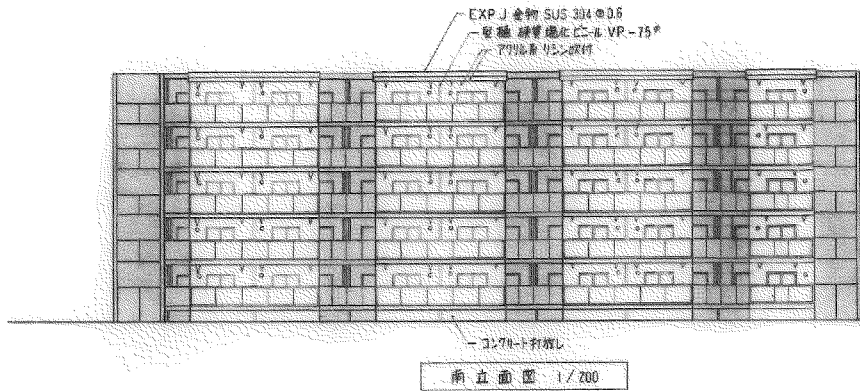


■ 1階平面図 1/200

- 凡例
- 既設部分を示す。
  - 増設部分を示す。
  - ▽ 既設消火器を示す (1.2F ADC 10個 3-5F ADC 6個)
  - 既設非常電報装置 (一体電子備用電源)
  - 既設区画: 710-ア—— 廊下 (DL-II型) 全戸
  - ※ 欄干付ガラス窓を示す。

名称 大森尚住宅住戸改善工事	
図面名称 各階平面図・屋根平面図	縮尺 1/200
図面番号 A-9	図号 63-8
設計	愛知県建築部住宅建設課





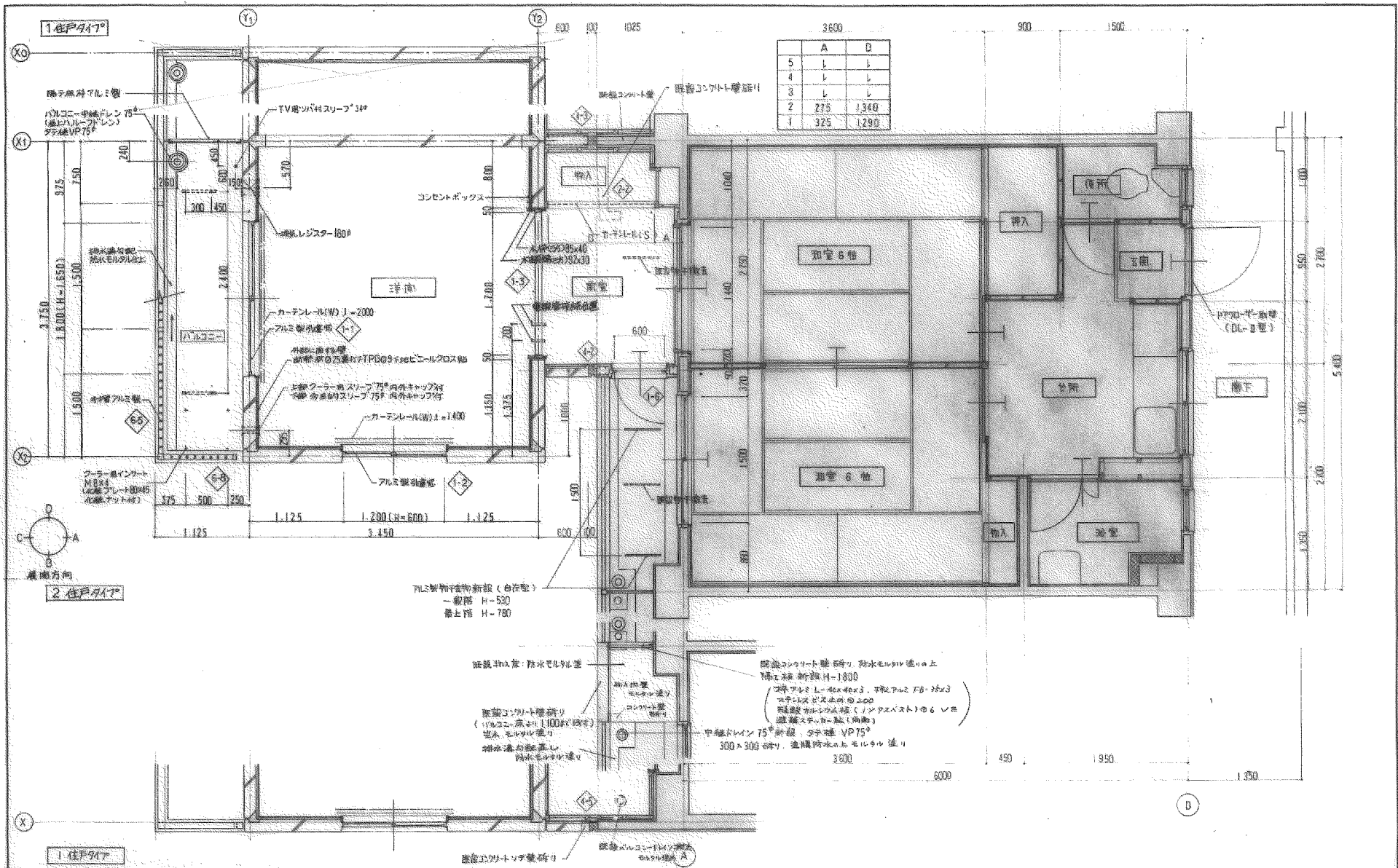
凡例

■ 既設部分を示す。

□ 増築部分を示す。

名称	大森向住宅住戸改善工事	
図面名称	立面図・断面図	縮尺 1/200
図面番号	A-10	製図 63-8
設計	愛知県建築部住宅建設課	





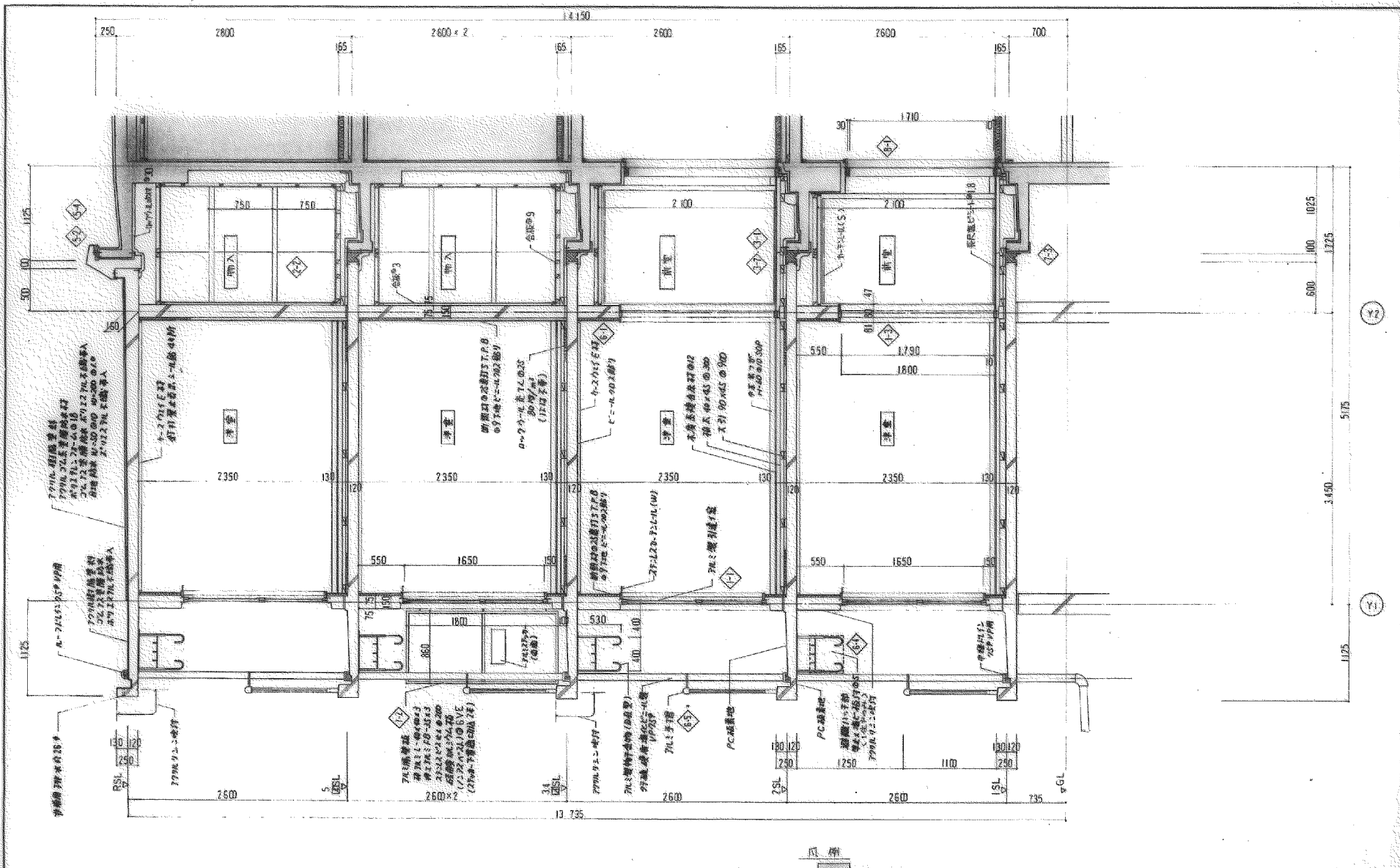
	A	D
5	1	1
4	1	1
3	1	1
2	275	1340
1	325	1290

- 追記事項
- 1 前室及び階段部分を記入して下さい。
  - 2 欄外部分のモデル等時を記入して下さい。
  - 3 前室部 PC板 ハイエース法は Y12通り 40, 50, 60, 70 を指定し図面記入して下さい。

名 称 大森向住宅住戸改善工事		
図面名称	平面詳細図	縮尺 1/30
図面番号	A - 11	頁数 63 ***冊数 6
設計	愛知県建築部住宅建設課	

2107-112





**追記事項**

1. 前巻目ハ既設部分ヲ記入シテ了ス。
2. 前巻目 PC 板ハ寸法ニテ Y2 通りリ 400・500・600・700 上程度 (尺面記入) テ了ス。

凡例  

 既設部分を示す。

名称	大森向住宅付改善工事	
図面名称	総計画	図尺 1/30
図面番号	A-12	頁数 48/8
設計	愛知県建築部住宅建設課	

<p>F-1 L形側溝 (JISA 5306) S=1:10</p> <p>【設置標準】</p>	<p>F-2 U形側溝 (JISA 5305) S=1:10</p> <p>【設置標準】</p>	<p>F-3 側溝 (JISA 5307 A・JISA 5307 B) S=1:10</p> <p>【設置標準】</p>	<p>F-4A 縁石 (JISA 5307 A・JISA 5307 B) S=1:10</p> <p>【設置標準】</p>								
<p>※ 側溝は、排水路の幅に合わせ、 ・縁石は、側溝の幅に合わせ、 ・縁石は、側溝の幅に合わせ、</p>	<p>※ 縁石は、排水路の幅に合わせ、 ・縁石は、側溝の幅に合わせ、 ・縁石は、側溝の幅に合わせ、</p>	<p>※ フロアは、JISA 5307 A ・フロアは、JISA 5307 B ・排水路は、側溝の幅に合わせ、 ・縁石は、側溝の幅に合わせ、</p>	<p>※ フロアは、JISA 5307 A ・フロアは、JISA 5307 B ・排水路は、側溝の幅に合わせ、 ・縁石は、側溝の幅に合わせ、</p>								
<p>F-4B 縁石 (JISA 5307 A) S=1:10</p> <p>【設置標準】</p>	<p>F-4C 縁石 (JISA 5307 A・JISA 5307 B) S=1:10</p> <p>【設置標準】</p>	<p>F-4D 縁石 (JISA 5307 A) S=1:10</p> <p>【設置標準】</p>	<p>F-5A コンクリート舗装 S=1:10</p> <p>【設置標準】 (表1A.114)</p>								
<p>※ 縁石は、排水路の幅に合わせ、 ・縁石は、側溝の幅に合わせ、 ・縁石は、側溝の幅に合わせ、</p>	<p>※ フロアは、JISA 5307 A ・フロアは、JISA 5307 B ・排水路は、側溝の幅に合わせ、 ・縁石は、側溝の幅に合わせ、</p>	<p>※ 縁石は、排水路の幅に合わせ、 ・縁石は、側溝の幅に合わせ、 ・縁石は、側溝の幅に合わせ、</p>	<p>※</p>								
<p>F-5B コンクリート舗装 S=1:10</p> <p>【設置標準】 (表1A.114)</p>	<p>F-6 コンクリート平根舗装 (JISA 5304) S=1:10</p> <p>【設置標準】</p>	<p>F-7 砂舗装 (G-1・G-2・G-3) S=1:10</p> <p>【設置標準】</p>	<p>F-8A アスファルト・コンクリート舗装 S=1:10</p> <p>【設置標準】</p>								
<p>※</p>	<p>※</p>	<p>※ G-1 G-2 G-3</p>	<p>※</p>								
<p>F-8B アスファルト・コンクリート舗装 S=1:10</p> <p>【設置標準】</p>	<p>F-8C アスファルト・コンクリート舗装 S=1:10</p> <p>【設置標準】 (表1A.114)</p>	<p>F-8D アスファルト・コンクリート舗装 S=1:10</p> <p>【設置標準】 (表1A.114)</p>	<p>F-8D アスファルト・コンクリート舗装 S=1:10</p> <p>【設置標準】 (表1A.114)</p>								
<p>コンクリート強度は、指定がなされ、150kg/cm<sup>2</sup>とする。</p> <table border="1"> <tr> <td>材料名</td> <td>外観標準型</td> <td>寸法</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>材料名</td> <td>A-15</td> <td>寸法</td> <td>単位</td> </tr> </table>	材料名	外観標準型	寸法	単位	材料名	A-15	寸法	単位	<p>※</p>	<p>※</p>	<p>※</p>
材料名	外観標準型	寸法	単位								
材料名	A-15	寸法	単位								
<p>計 愛知県建築住宅建設課</p>	<p>※</p>	<p>※</p>	<p>※</p>								





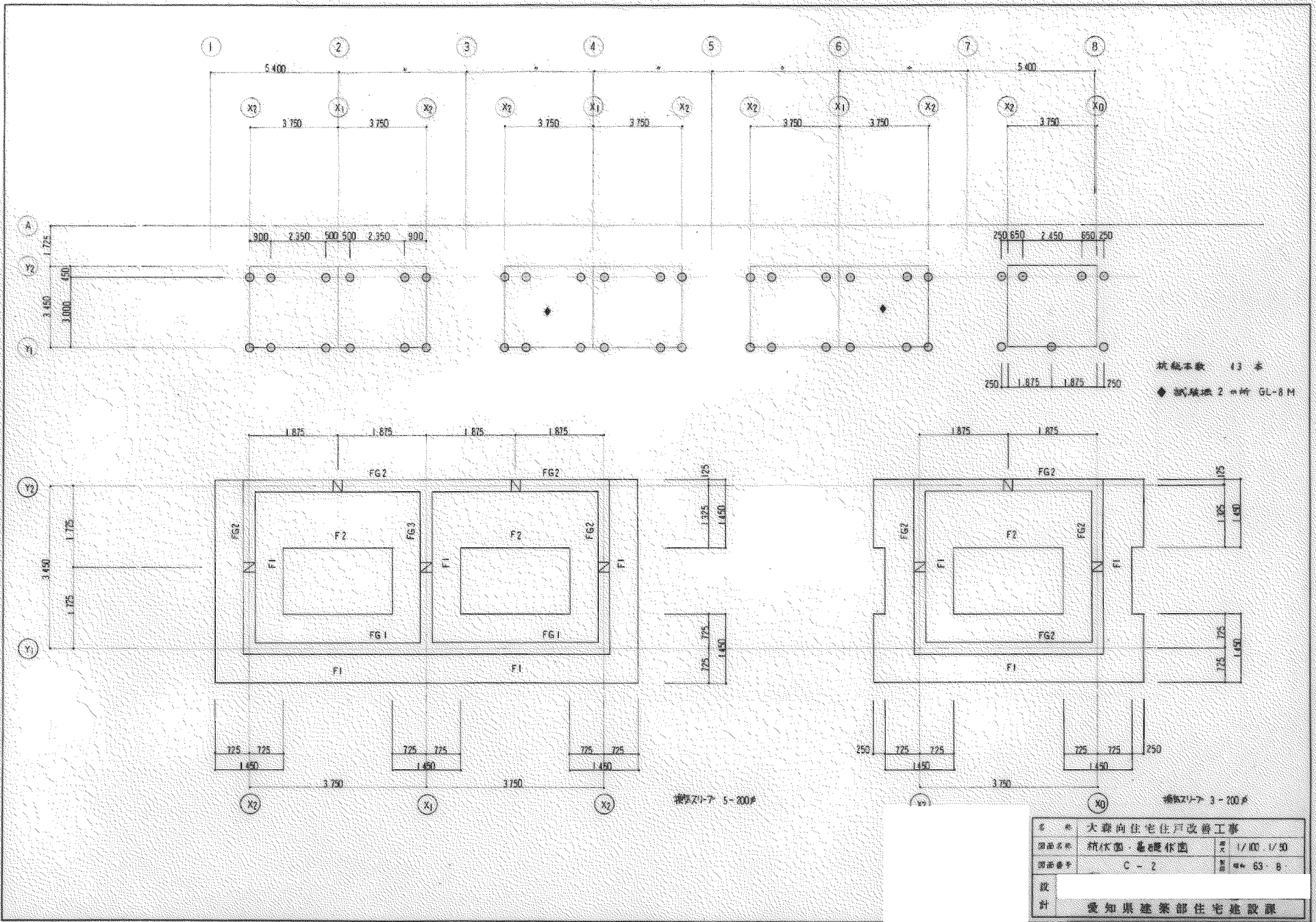
使用材料	地中梁リスト				杭頭処理図
	記号	FG 1	FG 2	FG 3	
○ コンクリート $F_c = 180 \text{ kg/cm}^2$ ○ 捨コンクリート $F_c = 135 \text{ kg/cm}^2$ ○ 鉄筋 SD30A 産物品 ○ 杭 3GT / 本 350φ (PHC 標準) L = 6M ○ 鋼材数 43 本	位置	全断面	全断面	全断面	所要杭長 ≤ 杭長 軸筋 4 - D16 HOOP D10 @ 100
	断面図				
	上端筋	2 - D19	2 - D22	3 - D22	 <small>不足杭長は20φ間の大端行の補強方法を検討し、必要に応じて受けること</small>
	下端筋	2 - D19	2 - D22	2 - D22	
	S.T.P	D10 - @250	D10 - @200	D10 - @200	
	横筋	10 - D10	10 - D10	10 - D10	

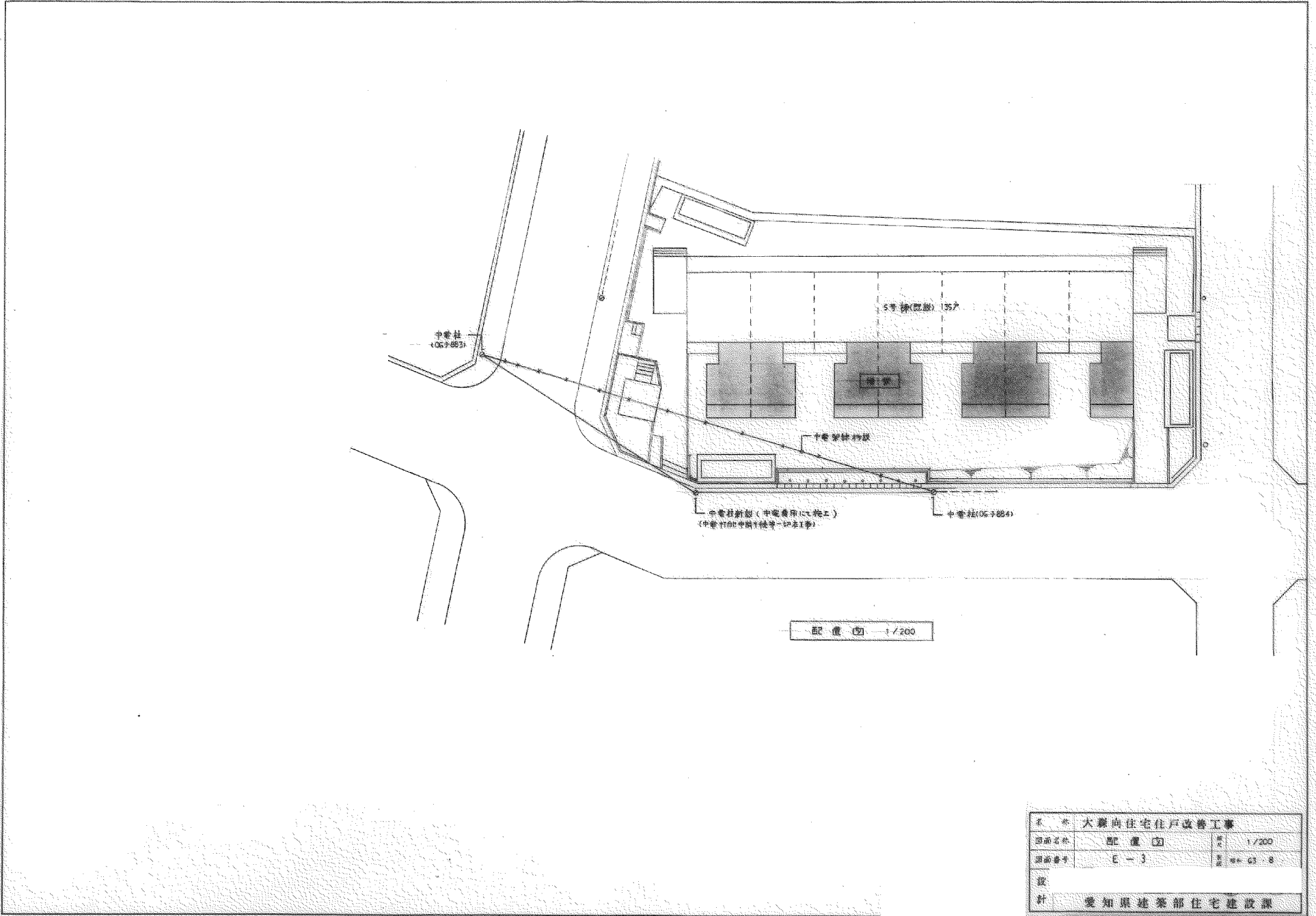
基礎リスト		杭頭補強図									
F 1	F 2	所要杭長 ≤ 杭長	所要杭長 > 杭長								
		<table border="1"> <tr> <td>杭径</td> <td>300φ</td> <td>350φ</td> <td>400φ</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>750</td> <td>900</td> <td>1000</td> </tr> </table>		杭径	300φ	350φ	400φ	B	750	900	1000
杭径	300φ	350φ	400φ								
B	750	900	1000								

追記事項 1. 使用材料 ○ 杭：種別 杭径 杭長 支保力 (前記より7割の引込規定に依る)  
 ○ 直接基礎の場合、別途規定に依る。  
 2. 地中梁基礎リストに GL ラインを記入し、尚、引込率より配筋量が異なる場合があること等注意。  
 3. 基礎リストの F2 主筋の種別・サイズを明確に記入。

名 称	大瀬川住宅住戸改修工事		
図面名称	地中梁基礎引計、杭頭処理図	図 号	1/30
図面番号	C-1	縮 尺	1/40
設 計	愛知県建築部住宅建設課		



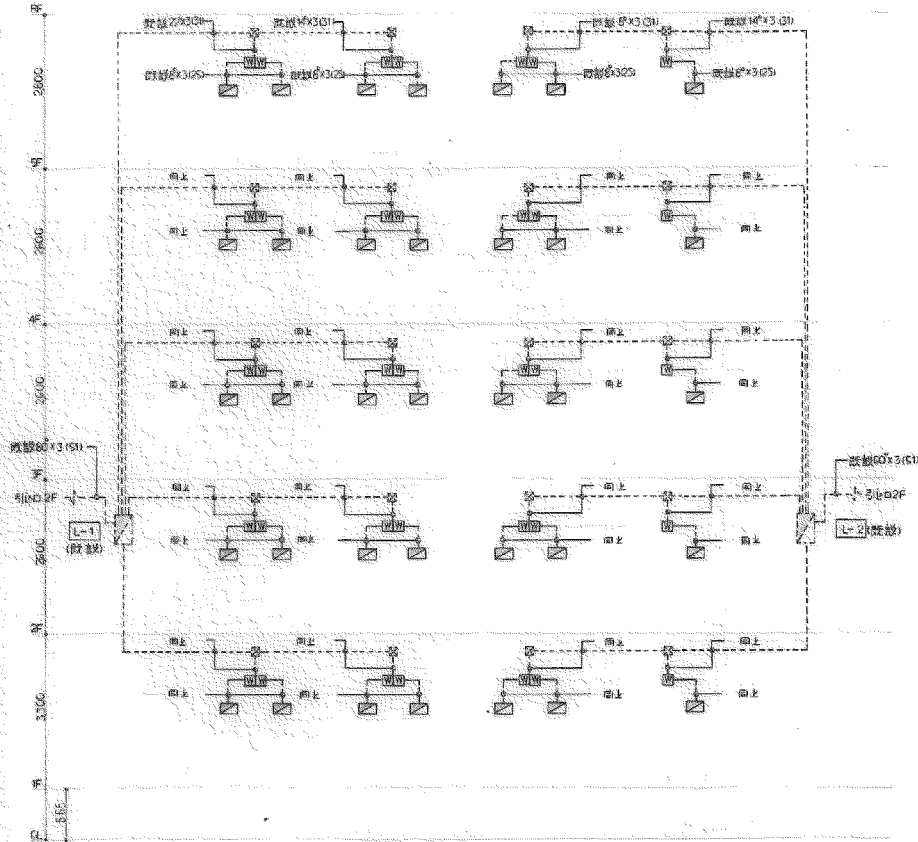




大森尚住宅住戸改善工事		
図面名称	配 置 図	縮 尺 1/200
図面番号	E - 3	頁 数 03 / 8
設 計		
愛知県建築部住宅建設課		

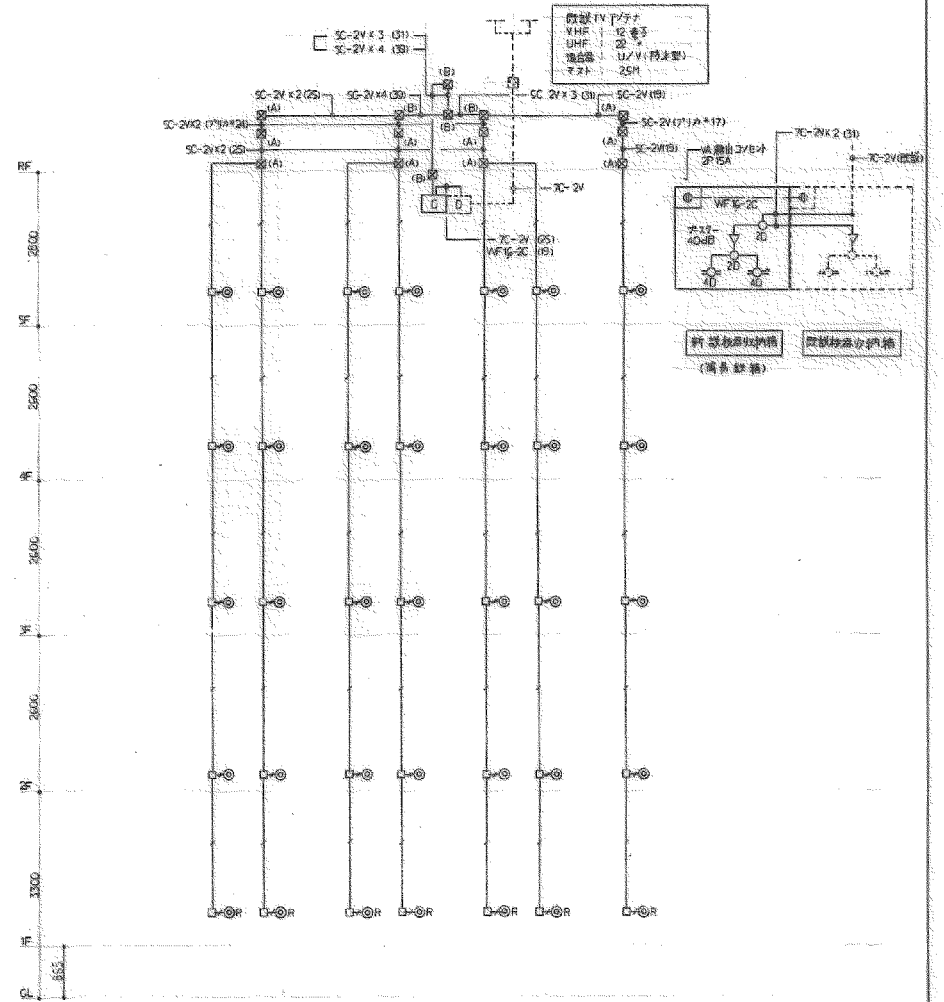


新機設備系統図



注 各戸の電盤は 取付 35mm

テレビ機設備系統図

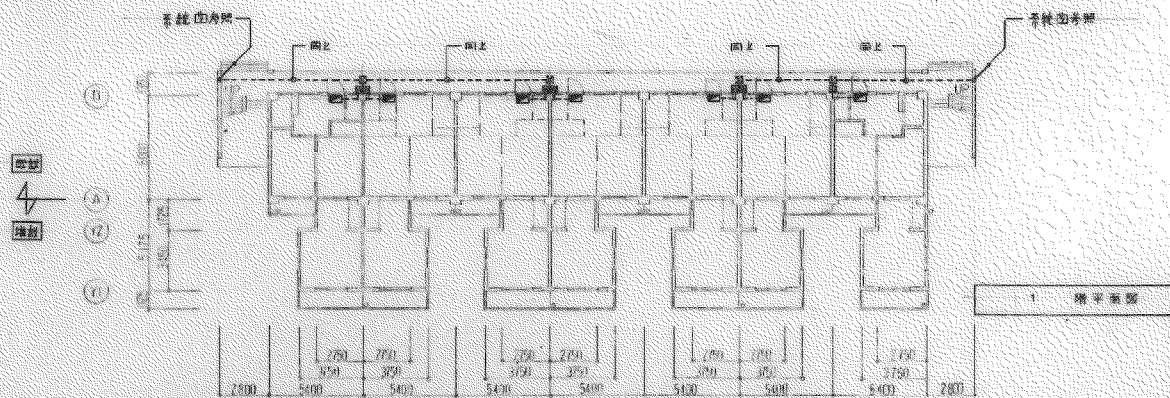
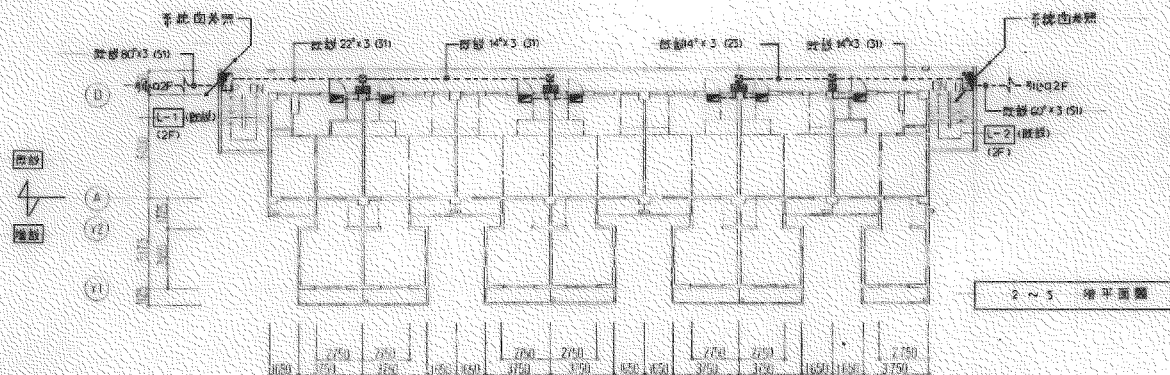
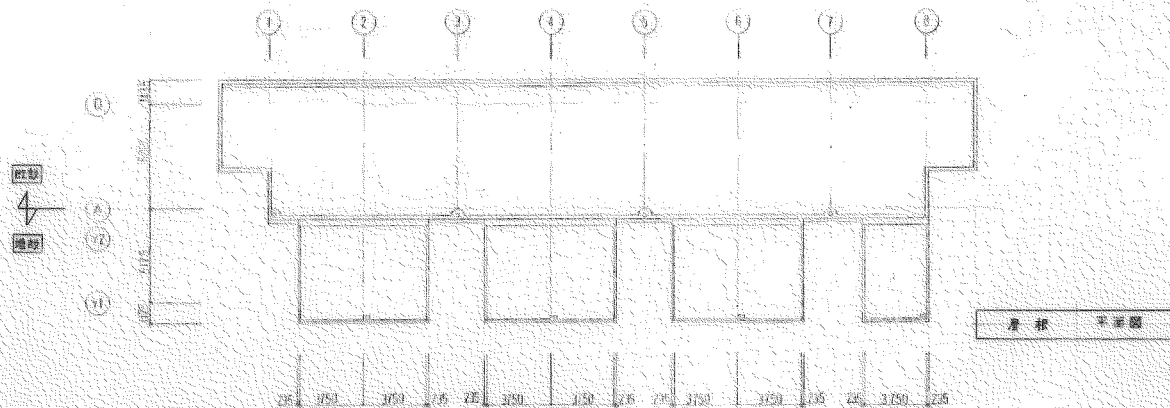


(注) 1. 図中アンテナの取付位置は下図に示す。  
 壁 (A) : 150 x 150 x 100 (標準型)  
 壁 (B) : 200 x 200 x 100 ( + )  
 2. 特別アンテナの取付位置は別図に示す。  
 (標準型アンテナの場合)

(注) 3. 特記の配線は標準の図に示す。  
 〃 SC-2V (150)  
 〃 SC-2V x 2 (25)

工 号	大森市住宅戸改善工事	
図面名称	新機・テレビ機設備系統図	頁 1
図面番号	E-4	図 63-28
設 計	愛知県建設部住宅建設課	





- (注) 1. 特記記号配置記号は次の通り。
- 鉄筋 22×3 (D)
  - 鉄筋 14×3 (D)
  - 鉄筋 10×3 (D)
  - 各戸分電盤取付

名称	大森向住宅住戸改善工事		
図面名称	軒棟設備平面図	比例	1/200
図面番号	E-5	規格	昭和 G3-8
設計	[Redacted]		
設計	愛知県建築部住宅建設課		

